皆さん、こんにちは。市議会議長の奴間健司です。

平成２５年度教職員赴任式にあたり、議会を代表して「歓迎のことば」を述べさせていただきます。

今回、古賀北中の高原校長先生、古賀東中の長谷川校長先生をはじめ市外・市内含めて４６名の方が古賀市の小中学校に赴任されました。特に、古賀市外から赴任された２２名の先生方、そして１２名の新規採用の先生方、議会を代表し、心より歓迎いたします。

古賀市の子どもたちのために宜しくお願いいたします。

古賀市では、「教育は人である」という教育長はじめ教育委員会の確固とした基本認識から、学校現場に少しでも職員を増やそうということで、積極的に取り組んでおり、議会としても高く評価しています。

小学校中学年指導、中１ギャップ、小１プロブレム、特別支援教育支援員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、学習支援アシスタント、全小中学校への学校図書司書の配置、ＡＬＴなどです。学力や不登校対策で効果を上げてきています。

議会で審議したところ、２０１２年度は１億５００万円の市の予算を投入しましたが、２０１３年度予算ではさらに充実させ、１億１２００万円、学習アシスタントを除いて９０人以上の配置となっていることがわかりました。

また、古賀北中では、骨密度測定などを通じた健康教育が始まりました。糖尿病の重症化、医療費の増大傾向に対する対策は小学生、中学生から必要になっています。古賀竟成館高校での３年間の実践もあり、古賀北中、福岡女学院看護大学、古賀市予防健診課が連携した取り組みは、とても重要な意義があると言えます。

そこで、古賀市に赴任された先生方には、こうした古賀市の教育施策についてご理解をいただき、その具体化、定着にぜひともご尽力いただきますよう私からもお願いする次第です。

さらに、古賀市では、これらの取り組みが子どもたちにどのような効果をもたらしているのか、検証しながら拡充を図っていこうという段階にあります。子どもたちと向き合い、子どもたちのことを話し合う時間が確保できているのか、多忙化の問題が指摘される中で、人的配置がどのような効果をもたらしているのか。今回赴任された先生方には、検証を踏まえた手直しや拡充に向けて積極的にご意見をいただきたいと希望します。

私は、古賀市流の取り組みを、粕屋へ、宗像へ、福岡県へ、そして全国へと広がっていくことを期待しています。子どもたちにとって最善の教育環境を実現すること、教育の機会均等を堅持するために、国の教育政策を突き動かすようなうねりを創出できればどんなに素晴らしいことかと思います。

先生方には、古賀市にとって大事な時期に赴任していただきました。子どもたちの成長、心豊かに学ぶことのできるまちづくりにお力をお貸し頂きたいと議会としても切にお願いする次第です。

特に新規採用の先生方にとっては、教員生活１年目が古賀市で良かったと思っていただけるよう、私たち議会も教育委員会と真剣に議論、連携しながら教育環境の充実に力を入れていくことをお約束します。

結びに、赴任された先生方並びに市内小中学校のすべての先生方のご健康とご活躍を心より祈念申し上げ、歓迎のことばとします。

２０１３年４月１日　古賀市議会議長　奴間健司